

富山県聴覚障害者 センターだより

- 協会とセンターのホームページ
<http://www.tomichokyo.or.jp>
- 手話通訳・要約筆記・ライブラリ・センター利用の「手引き」を配布してい

NPO法人全国聴覚障害者情報提供施設協議会 意思疎通支援担当者研修会に参加して

7月19日～21日の3日間、コミュニティ嵯峨野及び京都市聴覚言語障害センターで開催されました。全国の聴覚障害者情報提供施設から意思疎通支援にかかわる職員が43名参加し、講義を聴き、グループワーク等での意見交換を行いました。

センターで、広域派遣の際に電話やメールでやりとりをしている職員の方と実際に顔を合わせることで、互いに今後の連絡が取りやすくなります。前回お会いした方の他に、新たに知り合った人も増え、研修時間以外にも親交が深められたのは良かったです。

講義のテーマは「スーパービジョンの意義と効果」「災害時の情報提供施設の役割ー熊本地震の支援から、支援者の立場から」「障害者差別解消法施行後の状況」。

特に、熊本地震の支援について具体的な報告があり、大規模災害が起こった際の情報提供施設の役割として「情報・コミュニケーションの保障がどれだけできるか」「福祉避難所として設備・人材を充実させるためには、厚生労働省へ訴えていかななくてはならない」「聴覚障害についての理解を、地域にどれだけ広められるか」「手話サークルの役割は大切。もう一度見直しを」などの話が印象的でした。被災地の情報収集や状況把握については、被災中に連絡を十分取りあうことは不可能です。日頃の活動や考え方が大切で、平時に検討しておかななくてはならない、とのことでした。

富山は災害が少ないと言われていますが、熊本も地震が起きるまでは同様だったとのこと。「安全神話」には根拠がありません。日頃の備えが大切であり、近県との連携を図っていかなくてはならないと感じました。（清水 歩）

9月30日（土）富山県総合防災訓練では、午前中、今回も富山市新庄小学校会場と富山県聴覚障害者センターをスカイプで繋ぎ、連絡交信、遠隔手話サービスの体験を行います。都合良ければぜひ見て下さい。

富山防災WEB知っていますか。
<天気・気象情報><地震、津波、火山情報>、
<土砂災害警戒情報>、<雨量・水位>、<緊急医療>、<防災啓発情報>、<地域防災計画書>を知ることができます。
各市町村の防災ブログやツイッター、メールサービスも利用できる人は利用してみましょう。

センター利用の実績 7月21日～8月20日

- 来所者合計約461名
聴障者約196名、健聴者約265名
- コミュニケーション支援コーディネート86件
- ライブラリー貸出 2件5本
- 相談対応7件 ●部屋貸出50件

★センター運営募金・募集★

郵便振替口座；

00790 - 0 - 93002

名称；富山県聴覚障害者

センターを支える会

匿名 12,000円

ありがとうございます。